

<運用の主体>

国内交流の運営母体は基本的に FR 組織であるが、運用の手続きは煩雑さを極力避ける為、FFJ のホームページを活用する事とし、実際の HP の運用を担当されている FFI スタッフである RSM の金元勅子さんに具体的手続きを委託する事とする。

なお、実際の運用に際して、質問や相談したい事などがあれば、各ブロックの FR が責任を持って対応するものとする。

<交流の申し込み手続き>

1. 日本の各クラブが自主的に下記の交流プログラムの基準に従ってプログラムを作成し、ホストクラブとしての「交流提案」(チラシと交流参加申込書)を直接 RSM の金元氏に HP 掲載の依頼をする。
2. RSM の金元氏はホストクラブから「交流提案」を受け取り次第、FFJ の HP に掲載すると同時に、交流プログラムがアップされた旨全国のクラブのリーダー宛てにメールする。
3. 各クラブリーダーは夫々に適当な方法で出来る限り速やかにクラブ会員に情報を提供する。
4. 交流を希望する会員はホストクラブの交流窓口に直接メールで参加申込書を送る。但し、所属クラブリーダー又は交流担当委員にもメールをccで同時に送る。
5. ホストクラブは期限内に受け取った交流申込書を集計し、受入可能な人数を決定の上、申込者に承認の通知を直接申込者にメールで送る。受入れ可能人数をオーバーし、受入出来ない申込者に対しては、しかるべき理由を説明し、メール等で事情を伝える。出来れば、その後のフォローをどうするかについても伝えることが望ましい。

<交流プログラムの基準>

1. 交流期間はホストクラブの事情に従って2~3日間を標準とする。
2. 交流時期は極力FFの渡航や受入れに支障を来さないよう配慮する。
3. 交流プログラムの具体的内容についてはホストクラブの自主性を尊重するが、申込書には必ず下記の内容を含む事。
 - a. 交流時期と期間
 - b. 受入可能人数とオーバーした場合の選考基準
 - c. プログラムの具体的スケジュールと内容
 - d. ホストクラブの会員との交流内容(団体交流と個人的交流の可能性など)
 - e. 交流に伴う費用が発生する場合は、その内容と凡その金額

<交流に伴う費用>

1. 宿泊費用は全額参加者負担とし、直接宿泊施設に支払って頂く。また滞在中の交通費・食事代・観覧料等も参加者負担とする。
2. 所謂ホストフィーは要求しないものとするが、ホストのプログラムの中で特別に費用が掛かる場合は、参加者負担とする。但し、情報交換の為の会議室代とか懇親会の為の会場費用などについては、ホストクラブの決定に従うものとする。

<FFI への寄付>

あくまでも個人の善意によるものであり、強制ではないが、便宜上一人当たり1000円以上を目安として、ホストが用意する募金箱などに寄附して頂く。

以上

付記:この運用基準の改定は2022年1月19日のズームによる FR 会議に於ける決議に基づく。